

# 家族説明リーフレット「ご家族の皆様とお話したいこと」

## 1. はじめに

本研究班の調査で、人生の最終段階における医療では、ご家族との話し合いの中で、今後取りうる対応をわかりやすい形で示すこと、患者さんの Living will を拾いやすくすることが、改めて重要であると分かってきました。ご本人とご家族ができるだけ納得のいく最期の迎え方を考えていくために、今後ご本人とご家族の意思によって取りうる様々な選択肢があるということの情報提供<sup>1</sup>を行うことが大切なのではないかと考えています。

## 2. リーフレットの目的

ご家族は患者さんの人生の最終段階を迎えるにあたって並々ならぬ動揺があり、状況の理解には時間を要することは当然です。そこで持ち帰って繰り返し読み返すことができるリーフレットを用いた説明によって、ご家族の受容と理解の一助となればと思います。

ツールとしてご活用いただけるよう、リーフレットは以下を意図して作成されています。

1. 患者さんが回復の見込みがない状況であることを、わかりやすく説明しご家族の理解を助ける。
2. 患者さんの病状とそれに対しどのような処置がされてきたか、改めて情報を整理しご家族の理解を助ける。
3. 人生の最終段階において取りうる医療の選択肢をわかりやすく提示する。
4. 今後の対応についてご本人とご家族の意向を確認する。
5. ご家族が持ち帰り、再度読み直すことができる。
6. 医師からの説明を直接聞くことができなかったご家族にも患者さんの状態を伝えることができる。

## 3. リーフレット使用のタイミング

人生の最終段階<sup>2</sup>を迎えた患者さんの病状をご家族と共に確認し、今後の対応をご相談するタイミングです。具体的には、病院で最善の治療を受けたにもかかわらず、回復の見込みがない状態と判断された時点以降と思われるが、個々の症例やご家族の受容度によってタイミング<sup>3</sup>が異なることもあると考えます。(図1)

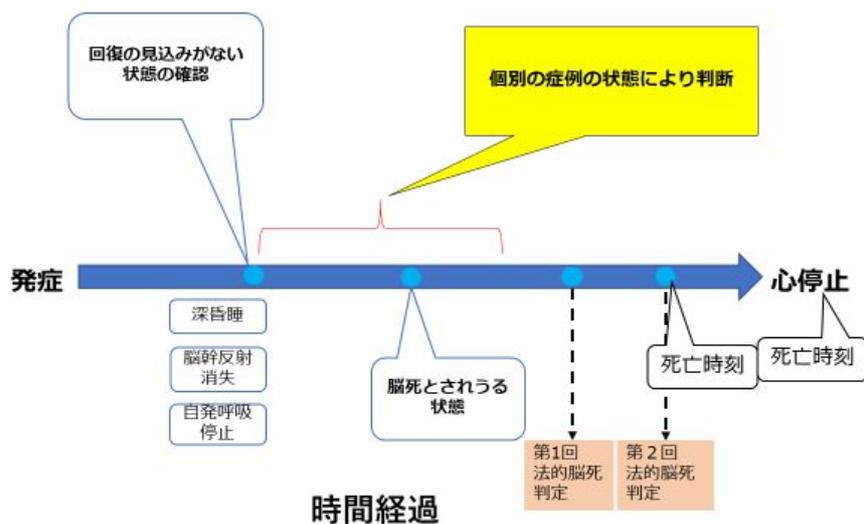
---

<sup>1</sup> 以前より関心があった方(関心・準備期にある方)に対するリマインドという意味での情報提供であり、あくまで1つの選択肢として臓器提供があることをお伝えするというスタンスです。関心の無い方に対し強くお願いするという意図はありません。

<sup>2</sup> 厚生労働省では終末期のことを、このように表現しています。

<sup>3</sup> 多くの場合、使用のタイミングは回復の見込みがない状態(脳蘇生の限界点)から、脳死とされうる状態の診断までの期間かと思えます。しかし、施設によっては脳死判定をしないと情報提供ができない所もあります。また、ご家族に病状を理解して頂くという意図も含めて脳死判定を実施する場合等もあるなど、症例によって様々なケースが考えられます。そのため、リーフレット使用のタイミングに幅をもたせてあります。

( 図 1 ) リーフレット使用のタイミング



#### 4. リーフレットの構成

( 図 2-1 ) リーフレット 内面 左側



( 図 2-1 )

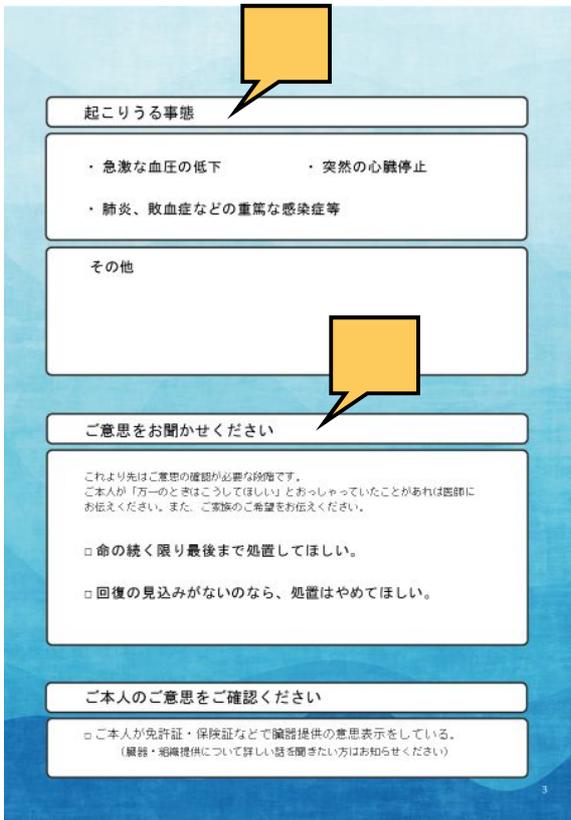
#### 機能の障害と処置

患者さんの病状と実施所定が整理されています。

#### 回復の見込み

病状を正しく理解して頂くため、回復の見込みがないことをあえて明記しています。今後の対応を考えるためには、ご家族の理解が不可欠と考えるためです。

(図 2-2)リーフレット 内面 右側



(図 2-2)

**起こりうる事態**

今後患者さんの状態が急変する可能性があることを説明しています。「その他」の欄には症例に応じて追記頂けるようになっています。

**ご意思の確認**

人生の最終段階を迎えた患者さんのご意思を確認します。またご家族のご意思を確認します。<sup>4</sup>

<sup>4</sup> 保険証などの意思表示確認が、小さなフォントとなっているのは、無関心期の方にお願いをしているわけではなく、「いざという時は考えている」という関心・準備期にある人に対するリマインドであるためです。(言い換えれば、臓器くれれ感を無くすためです。) 医師によっては、「これでは控えめすぎる」という指摘もあるかと思いますが、無関心期の考えを変えるという意図はなく、敢えてこのような形としています。

(図 3)リーフレット表紙



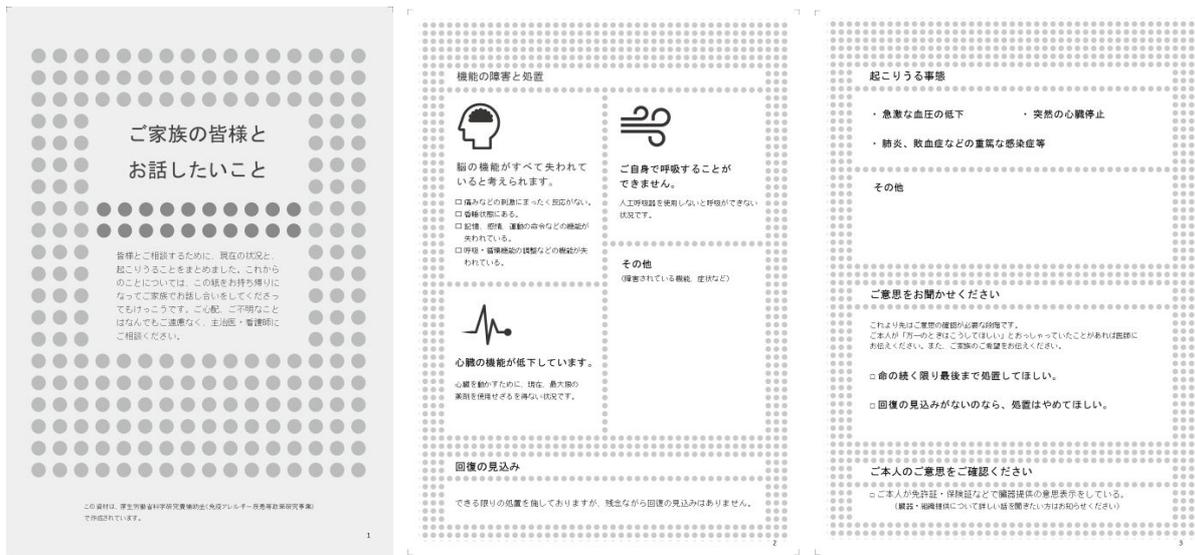
(図 3)

**リーフレットについての説明**

医師からの説明を直接聞くことができなかったご家族と相談する際にもご活用頂けることを提案しています。

リーフレットはA3・A4サイズの2種類で、カラー版とモノクロ版があります。モノクロA4サイズは、施設によっては電子カルテシステムに登録いただき、病棟でプリントアウトして使用いただくことを想定して作成しました。

(図4)モノクロ版リーフレット



## 5. リーフレットの文言変更について

A4サイズのリーフレットデータは、内容や文言の変更が可能です。リーフレットの内容を、ご使用いただく先生方や医療機関のお考えに沿った、言葉遣いや表現として頂くことができます。

## 6. 留意点

今後の対応にご家族の意向をすぐにとまめなければならないわけではなく、時間が必要な場合もあるかもしれません。個々の症例の状況に合わせる必要があります。